

科目「簿記」学習指導案

学 校 名	茨城県立水戸商業高等学校	指 導 者	教諭 ○○ ○○
指 導 日 時	平成 28 年 6 月 14 日(火)第 5 限	場 所	教室 (1年5組)
対 象 生 徒	情報ビジネス 科 1 年	5 組・コース	40 人
科 目 名	簿記	使用教科書	新簿記 実教 出版

1 単元 (題材) 名

商品売買の取引

2 単元 (題材) の目標

- ・分記法について確認し、3分法による記帳へと発展させる。
- ・商品売買に関する取引を、3分法によって記帳する方法を理解させる。
- ・仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割を理解し、その記入方法について習熟させる。
- ・商品有高帳については先入先出法と移動平均法を理解させる。
- ・3分法によって記帳している場合の商品売買損益の計算について理解させる。

3 単元 (題材) について

(1) 教材観

簿記の基礎を学習するために分記法を学んできたが、ここからは広く一般に用いられている3分法について学習し、実社会で通用する能力を身に付けさせる。また、仕入勘定、売上勘定、繰越商品勘定を理解させ、仕入帳、売上帳、商品有高帳の記入の仕方を習得させる。

(2) 生徒観

情報ビジネス科の生徒は、大人しくて学習意欲はあるが、自分からは質問や発言などをしない。そのため分からないところがあってもそのままにしてしまう傾向がある。

(3) 指導観

分記法をなぜ学んだのか、なぜこれからは3分法を学ぶのかを説明して、単元のスタート時に混乱しないように留意する。3分法に入っても今までと同様に仕訳の際は、資産・負債・純資産・費用・収益のどの要素に入るのか確認する。補助簿の学習時には教科書を参考にしながら丁寧に作成をしてしっかりと形式を覚えさせる。

授業時には毎時間通じて生徒への発問を図り、考える力を付けさせる。また、生徒同士で教え合う時間などを作りコミュニケーション能力の向上に努める。

4 単元 (題材) 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
発問に対して積極的に発言をし、自ら進んで問題演習に取り組む。	分記法と3分法の違い、なぜ2種類学んだのかを考える。また、3分法での仕訳の意味や補助簿の役割を考える。	3分法の仕訳ができる。仕入帳、売上帳、商品有高帳の補助簿の作成ができる。	分記法ではなくなぜ3分法が広く使われているのかを理解し、3分法での仕訳の意味を理解する。また、仕入帳、売上帳、商品有高帳の補助簿の役割を理解し、データを見て取れる。

5 指導と評価の計画（学習計画）

時	主な学習活動	指導及び留意点	関	思	技	知
1	分記法と3分法の違いを考え、3分法での仕訳を理解する。	分記法をなぜ学んだのか、なぜこれからは3分法を学ぶのかを説明して、単元のスタート時に混乱しないように留意する。また、仕訳の際は、資産・負債・純資産・費用・収益のどの要素に入るのか確認する。	○	○		
1	仕入帳、売上帳の作成	教科書を参考にしながら丁寧に仕入帳と売上帳の記帳方法を説明して、生徒と一緒に作成をしていく。	○		○	
1	商品有高帳の作成	前時と同じように作成していく。先入先出法と、移動平均法どちらもできるようにそれぞれ説明をする。	○		○	
1	商品売買損益の計算と単元のまとめ	3分法での商品売買益の計算方法を教科書の式を参考に説明をする。単元を自力で解けるか問題集を使いながら確認をする。	○			○

6 本時の学習

(1) 本時の目標

<ul style="list-style-type: none"> 商品有高帳の役割を理解し、その記入方法を習熟させる。 商品有高帳の先入先出法と移動平均法を理解させる。
--

(2) 準備・資料等（学習に必要なワークシート、教育機器、資料等を記入）

教科書（新簿記） 問題集

(3) 本時の展開（導入・展開・終末）

時間	学習活動・内容	指導上の留意点（◎評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業内容が書かれた板書をノートに写す。 前時の授業内容を確認する。 本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の板書をし、終えたら机間巡視をして忘れ物がないか、ノートをきちんと取っているかを確認する。 ◎関心・意欲・態度 本時の目標を発表し、生徒に意識付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 商品有高帳の役割について理解する。 商品有高帳の記入方法を教科書を参考にしながら理解し、問題集で実際に作成をする。 先入先出法と移動平均法のどちらも理解し、作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 板書を使いながら、商品有高帳の説明をする。 生徒に商品を何か挙げてもらい、その商品を仕入れたたり、売り渡された時に何が必要なのかを考えさせる。 ◎技能 問題集の内容を拡大コピーしたものを黒板に貼り、一緒に商品有高帳を作成する。 線の引き方や赤で記入しなければいけないところを教科書を参考にしながら説明する。 先入先出法と移動平均法の違いを説明する。
終末	<ul style="list-style-type: none"> 問題集を使って自力で商品有高帳を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間巡視をしながら生徒の理解度を確認する。 分からない生徒がいれば個別に指導する。